



六甲山YMCAを出発

第12回テーマ： 六甲山の野鳥

探鳥

六甲山YMCA周辺
山陽自然歩道（ノースロード）～
シュラインロード行者堂の往復

講演

- ①鳥合わせ
- ②六甲山に来る鳥たち

実施日：平成16年3月20日（土）
午前9時～午後2時30分
場 所：六甲山YMCA



まつした たけし
講師：松下 猛さん

プロフィール

昭和13年横浜市生まれ
昭和36年関西学院大学経済学部卒業後、丸紅株式会社で繊維営業に従事。
日本野鳥の会兵庫県支部、大阪支部に所属。検定1級。

春の兆しを感じる六甲山

六甲山の木々は新芽で一杯です。桜の開花前線予想も速まる中、ネコヤナギはそっと日なたぼっこです。平成15年度の市民セミナーは第12回「六甲山の野鳥」で締めくくる事になり、世間を騒がせている鳥インフルエンザも消沈して、36名の熱心な参加者は、松下猛さんのお話を楽しみに、朝から六甲山YMCAに集合しました。

探鳥会では16種を確認

本日の探鳥は、六甲山YMCAからシュラインロードの行者堂を往復するコースです。立ち止まって鳥の鳴き声に耳を傾け、松下さんから興味深い説明を受けました。双眼鏡の使い方も学び、探鳥の要領を少しずつ身につけました。行者堂に着く頃には小雨が降り出し一気に寒さを感じて、帰りの道を急ぎました。



探鳥

熱気のこもった講演で交流

六甲山YMCAに戻ると里見ホールの暖炉に火が入り、温かい飲み物も用意されていました。昼食会は常連と初めての参加者の交流が進みました。午後からの講演は「鳥合わせ」から始まりま

した。松下さんの軽妙で含蓄豊かな説明に感心し、「六甲山に来る鳥たち」のスライドの美しさに魅入られました。

平成15年度のエンディング

懇談会では参加者ひとり一人が感想や意見を紹介し、六甲山への関心やセミナーへの期待を確かめました。今回で平成15年度の市民セミナーを大盛會に終えました。神戸県民局、県立人と自然の博物館、灘区役所のご後援も受け、多くの方々のご支援をいただき、改めて感謝を申し上げます。

尾崎尚子さんにレポートをしていただきました。

参加の感想 門 昭子さん

初めて参加したシュラインロード越え（歴史探遊）の時も、今回の時も雨に降られました。2回とも天気には恵まれませんでした。とても楽しかったです。野鳥も寒さに耐え、羽を濡らさないようにじっとしていたのでしよう。鳥がよく見られなかったのは、残念でしたが、これも自然の摂理。

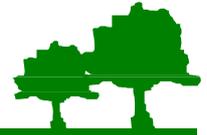
自然破壊が進む中、環境を守るため幅広く創造的な活動をされているのがよくわかります。松下さんのお話を聞かせていただき、もっと野鳥のことが知りたくなりました。



主催：六甲山自然保護センターを活用する会
後援：兵庫県神戸県民局 兵庫県立人と自然の博物館
灘区役所（「地域力を高める」手づくりの活動・事業助成）



テーマ:六甲山の野鳥



第12回市民セミナーの流れ

市民セミナー

1. 探鳥 : 9:05~11:30
2. 昼食懇親 : 11:30~12:15
3. 挨拶案内 : 12:15~12:25
4. 講演 : 12:25~13:45
5. 懇談会 : 13:45~14:30

探鳥

六甲山YMCA周辺

講演

- ①鳥合わせ
- ②六甲山に来る鳥たち
(スライドによる解説紹介)



出発のあいさつ(松下 猛 さん)

探鳥リスト(冬鳥17種・留鳥36種)と、鳥のさえずり(声の聞き分け)が各自に配布された。「まず、声を聞いて、姿を見てアウトドアを楽しみましょう。」と松下さんを出発。



優しく説明

探鳥

キョロキョロと進む探鳥

六甲山YMCAの北側のキャンプ場を通過して、山陽自然歩道(ノースロード)を歩き、シュラインロードの行者堂をUターンする約1.5キロ、2時間弱のコース。この付近はリョウブ、ツバキ、コアジサイ、イヌツゲなどがあり、左右を見ながら進んでいった。

初めに会った鳥は?

何とハシブトガラス。ハシブトは海岸、山中、街中のゴミ収集場に多く見られる。ハシボソガラスは農耕地やハシブトと似た環境に生息するが、標高の高い山林や林には生息しない事から、田畑、川原のエサをあさると言う説明を聞いた。生態系も少しずつ来て来たのか、近頃我々の生活圏でもハシブトやハシボソはよく見られる。ハシブトはくちばしが大きく、ハシボソはくちばしが細く体も5センチ位小さいのが特徴。

続いて、「チチッ」と鳴き声が2回、「チッ」と鳴き声が1回聞こえた。「チチッ」はホオジロ、「チッ」はアオジの声(地鳴き)、そこへウグイスも鳴き出し、探鳥会はますます楽しくなってきた。

「鳥の鳴き声に慣れてくると探鳥が楽しくなり、奥も深いですよ。」と松下さんの笑顔。少しでも努力して鳴き声を聞こうと、皆が耳をすました。

シュラインロードへ進むと、「チチッ」と2回鳴き声。「これはさっきのホオジロです。」と松下さんが言われ、「うん、うん」とうなずき、殆どの人が「ホオジロの地鳴き」を覚えた。

鳥が鳴くのはどんな時?	鳴き方の種類
①巣をつくる時に鳴く	①地鳴き
②メスを求める時に鳴く	②さえずり
③縄張りを守る時に鳴く	③さえずり

双眼鏡の扱い方

- ①右目を閉じ左目で前方物を見て視点を合わせる。
- ②左目を閉じ右目で前方の同じ物を見て調整。
(左右の視力の違いから、双眼鏡は自分で合わせることが大切)

【野鳥を観察する時】

- ①双眼鏡は首から安全に注意してぶらさげる。
- ②肉眼で野鳥を探す。
- ③見つけてから双眼鏡を使う。色、形から姿を楽しみ感動を味わう。



静かに見つめる

リスの巣を発見!

4~5メートル上の1本の木に巣を発見。「何の巣?」松下さんの見上げる姿につられ、我々も見上げたが何の巣かわからなかった。すると「リスだ。リスの巣です。」「へー!」。六甲山のかわいいリスを想像した。これだから「発見は楽しいね。」とうなずき、うれしさも倍増。

風も冷たくなり、雨も降り出しUターンしてYMCAの裏に帰って来るとルリビタキの雌とヒガラが出迎えてくれた。



リスの巣

講演

鳥合わせ

松下さんは中学2年から大学まで鳥を見ながら歩いて来られ、伯父の小林桂助さんの影響を受け、鳥の観察を続けて来られた。その楽しさと発見の体験を通して今日の鳥合わせをして戴いた。

六甲山に見られる冬鳥や留鳥の探鳥リストから今日見た鳥・声だけ聴いた鳥など各自が印を入れたものを全員で確認した。(計16種を確認)

見た鳥	ハシブトガラス、エナガ、シジュウガラ、ヒヨドリ、ルリビタキ(雌)、アオジ、アトリ、ホオジロ
鳴き声だけ	コゲラ、カケス、カワラヒワ、メジロ、ヤマガラ、ヒガラ、ウグイス、シロハラ
その他	リスの巣(2個)

六甲山に来る鳥たち

松下さんのアシスタントの那波さんから、33種の鳥のスライドを提供して戴いた。松下さんの丁寧な解説といただいた資料を見ながら、より深い知識を得る事ができた。

・カワセミ (留鳥)

雄は求愛時に雌に餌を与えるが、雌のくちばしはオレンジ色である。住吉川の赤土のある土手に1~2メートルの穴をいくつも掘り、お気に入りの1つだけ巣づくりに選ぶ。



カワセミのプロポーズ



カケス

・カケス (留鳥)

声が悪いが頭は良く、鳥とは思えないような猫のような声を出す。六甲山で多く見られる。



サンコウチョウ

・サンコウチョウ (夏鳥)

六甲山に渡って来て尾羽の中央2本が伸びる時、美しいハート形になる。

※留鳥：季節にかかわらず移動しないで、一年中ほぼ一定の場所に住む鳥

新たに参加され、熱心に講演を聴かれる皆さん



大塚紀美子さん



脇坂昭生さん



山下潤治さん

◆参考・配布資料など：

- ・「鳥を見つけた」パンフレット
- ・探鳥リスト
- ・双眼鏡 (数台を貸与)

～情報～

以前布引ダムへよく来ていたオシドリが、今年の2月に鳥原池に約200羽訪れました。神戸新聞他多くの探鳥家が確認しており、写真に収められています。



オシドリ

～ご案内～

松下さんの伯父、小林桂助さんの鳥コレクション(絵画)が六甲山ホテルに飾られています。六甲山にお出かけの際は、是非お立ち寄りご覧ください。

松下さんへのお問い合わせは当会事務局にご連絡下さい。

参加の感想 堀見 徹二さん

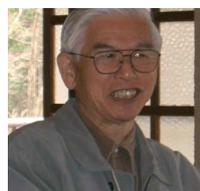
午前中は、周辺を探鳥。小鳥も雨で濡れるのはイヤだとみえて、出会えた鳥の数は、残念ながら少なかった。しかし地面に落ちたエサをついばむ愛らしいアトリの群れや印象深い模様ルリビタキ、シジュウカラなど、観察することが出来た。講師の丁寧で興味深い解説で、雨風や寒さ、時間も忘れさせてくれた。特に印象に残った言葉は、「姿を見ようとするのと同じくらい鳴き声を聞くことに神経を向けなさい」であった。

里見ホールの暖炉にくべられる薪の暖かい炎とパチパチと燃える音が、家族的で和気あいあいとした雰囲気を醸し出していたようでした。



貴会の六甲山の自然保護運動に賛同し、自らその先頭に立って活動されておられる姿に感心させられ、頭の下がる思いがしました。

懇談会



参加者全員にお話をお聞きする事ができた。それらの体験は自然との関わりを通した多くの発見や喜びと共に感動を共有し合い、心身健康な笑い声が続くまで里見ホールを共鳴していた。

伊沢信雄さんの一句に拍手喝采！

「癒されて 耳そばたてる 春の山」

参加者の声 アンケートより

◆セミナーの感想

- ・毎回マニアの方々が集まり、話を聞くのが楽しい。
- ・探鳥は初めて。楽しかった。心が癒された。
- ・鳥の説明を聞きながら楽しく参加できた。
- ・今後のハイキングに探鳥の楽しみが追加できそう。

◆ボランティア活動としての清掃や整備について

- ・「都合が合えば参加したい」と言う意見が多数。

◆参加者：36名(順不同・敬称略)

松下 猛	山田 良雄	八木 浄	三村栄三郎
伊沢 信雄	山下 潤治	杉本 和彦	尾崎 尚子
北山健一郎	西尾 延男	西尾 貴子	青木 孝子
山田 勇	池上由紀子	門 昭子	堀見 徹二
山本智愛子	脇坂 昭生	山口 敏子	岩島 年子
泉 美代子	高光 正明	丹治 英子	水田 桃代
三村 早苗	青木 光子	大塚紀美子	渡辺 洋
西岡 智恵	高井 登	堂馬 英二	那波 昌彦
中川貴美子	小野 律子	藤井宏一郎	中野 一